ミラノリブ

3日プレオープン

本町二に移転 製販一体型の店舗

群馬県産の絹に特化したものづくりを行っているニットメーカーのミラノリブ（笹口晴美社長）が大間々町から桐生市本町二丁目の旧矢野園に移転。工場兼店舗が3日、プレオープンする。製品ができるまでを見られるようにしたほか、客の要望を聞きながら製品化するシステムも導入した。新たに立ち上げたブランド「CHIJILA（チヂラ）」も展開する。まゆの段階で染めることで絹本来の特性を残し、豊かな色彩表現を可能とする特許技術でつくった糸の注文も受ける。

新ブランド「CHIJILA」展開

生産と販売の両機能を一体化したミラノリブの店舗

本町二丁目の拠点は1階に店舗と編織工程を置き、2階は糸繰りと縫製、裁断を行う。店内では古い機械も稼働する。婦人服のフルアイテムを定番でそろえるほか、専用のコンピューターを導入し、画面を見ながら顧客と編み柄や配色などを打ち合わせ、好みに応じた一品物の注文も受ける。

笹口社長は「お客様と一緒にブランドをつくっていきたい。シルクに関心のある人をつなぐ役目も担えたら」と話している。開店に併せ、インターネットサイトも立ち上げたほか、大間々町の旧拠点では上州座繰り機を用いた糸づくりの講習会を行う。

3月中の店舗営業日は金曜日と土曜日のみ。時間は午前11時から午後6時まで。問い合わせは同社（電20・8801）まで。

CHIJILA

新ブランド「CHIJILA」のマークは、カイコが糸を8の字に吐くイメージとまゆの形、ミラノリブの「M」を融合させたデザイン。「産地と消費者とものづくりをつなぐ意味を込めた」という

ブランドの道

この工場兼店舗は生産と販売を一体化した拠点として整備したもの。新ブランドの「CHIJILA」は絹の縮れを表す「ちぢら」という言葉が由来。「絹の本質を表す大事にしたい言葉」（笹口社長）という。

同社は一昨年から養蚕農家と契約し、春に収穫するため、品質が良いとされる「春まゆ」の飼育を委託。まゆから染め、製糸、編織、製品化までを一貫させたものづくりを進めている。「CHIJILA」はこの取り組みの専用ブランドとして展開する。

キリウ

メキシコに進出へ

鋳造素材供給 現地日産工場を買収

キリウ（足利市小俣南町、中川敏男社長）はメキシコに進出すると発表した。メキシコ日産レルマ工場を買収する。メキシコ日産向けに供給を開始する。キリウ・メキシカーナ」を設立。4月から鋳造素材を供給する。

司社はレルマ工場の土地約7万5千平方㍍と建物、設備を含むシリンダーブロック鋳造事業を買収。メキシコ日産向けに供給を開始する。キリウ・メキシカーナの社長はキリウUSAの井上章社長が兼務する。

来年前半までに機械加工を新設し、素材調達から加工までを一貫して行うテレーキディスク・ドラム供給体制を整備し、メキシコ国内に拠点を持つ自動車メーカーへの拡販を図る。生産能力は鋳造が月産2500㌧、機械加工が同20万個。

キリウはインドネシア、アメリカ、中国、韓国、タイに進出している。メキシコの拠点が6カ所目の海外拠点となる。

ヴィダルサスーン認定試験

中里由美子さん合格

難関突破し国内16人目の講師に

ワイズ・ヘアカンパニー（仲町三丁目）をはじめ、桐生市内や太田市に美容室3店を経営する、ベルウッド代表取締役の中里由美子さん＝写真＝がこのほど、イギリス・ロンドンのヴィダルサスーン本社で行われた同社認定インストラクター試験に合格した。

同試験は、イギリス・ロンドンに本社を置き、美容業界で世界的に有名なヴィダルサスーン社が行っているもの。東京での1次試験に合格した人のみ、ロンドンで5日間にわたって行われる2次試験を受験することができる。今回は中里さんをはじめ日本から3人が受験。中里さんのみ合格し、晴れて、日本国内で16人目の公認インストラクターとなった。

カットなどの実技のほか、日本国内での活動を発表するスピーチも試験にはある。そのスピーチで、中里さんは2002年に本町五丁目のジョイタウン広場で行った「気流」ヘアショーの活動などを写真とともに発表。ロンドンの試験官たちから、高い評価を受けた。

認定インストラクターとなった今後は、セミナーの講師、プロクター&ギャンブル社が発売しているヴィダルサスーンヘアスタイリング商品のプロモーション、ヘアショーなど多忙な日々が待っている。しかし「お客さんと接していることが一番好きなので、お店にいる時間も増やしたい」と、やる気を見せている。

大山鳴動して…

「情報の善し悪しを見分ける判断力、誘惑に負けない自制力、間違ったことをしたときの責任能力。インターネットを使うには、この三つの能力が必要です」。国会を揺るがしたメール問題の火付け役が謝罪する姿を見ながら、ふと先月の講演会取材で耳にした言葉を思い出した▼子どものインターネットの利用を考えるホームページ「ねちずん村」（主宰・下田博次群大社会情報学部大学院教授）の講習会。子どもへの普及が進むインターネット携帯電話が、逆に犯罪やトラブルを誘発してしまう現状を伝えつつ、被害に遭わないための自衛策を伝授していた▼インターネット利用の恐ろしさを知るべきなのは、子どもだけではなさそうだ。メールの信ぴょう性を見分ける判断力はどうだったのか。爆弾発言の誘惑に負けずに検証を進めるための自制力はあったのか。間違ったことをしたときに適切に対応する責任能力は…▼ライブドアから自民党幹事長の二男への送金を指示した疑惑があると民主党の永田寿康衆院議員がぶち上げたメール問題。大山鳴動したわりに、ネズミ一匹出てこない。耐震偽装問題、米国産牛肉の輸入問題、防衛施設庁談合事件、そしてライブドア事件。野党の追及すべき問題だけがかすんでゆく▼インターネット講演会で配布された資料は、こんな言葉で締められていた。「本当の敵は外側でなく、『自分の内』『自分の弱い心』にあることがわかっていただけたと思います」（針）

そうき林

NAK55・SKD11
SKS3・SK3
六面加工材
ゲージ鋼板

各鋼種・卸
小売・切断
各種

パーティサンド
(3～5名様用)
1,000円より
(税込 1,050円)

●各種新車・中古車販売
●車検・整備・鈑金・塗装
平成17年群馬運輸支局長表彰工場
(有)桑原モーター